



水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課

H30.5.23

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**南部地区民生児童委員協議会（和歌山県田辺市）**の皆様が見学に来られ、当事務所から流水調整課2名の職員が対応しました。

湿度の低いとても気持ちの良い晴天に恵まれ、魚道までゆっくりと地元の川やアユのお話しなどをしながら歩きました。

魚道観察室では、最盛期はもう終わってしまいましたが、少し小さめのアユが遡上しているのを見ることができ、皆さんとても喜ばれていました。

また、「この構造物があるのは知っていたけれど、和歌山市の利水治水の重要な役割を担っているこんなにすごいものだとは知りませんでした」と驚かれていました。

団体見学概要

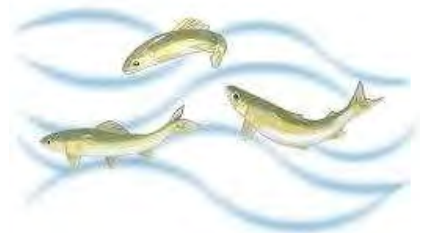
日 時： 平成30年5月22日（火）

10:00 ～ 11:30

会 場： 水ときらめき紀の川館

参加人数：14名

団体名： 南部地区民生児童委員協議会(和歌山県田辺市)



1. 紀の川大堰概要説明

まずは職員がスライドを用いて、紀の川の概要や、紀の川大堰の仕組み・役割などを説明しました。

和歌山県内に住まわれている皆様。特に紀の川の変遷や治水の歴史などの話しを熱心に聞かれている姿が見られました。



2. 館外の魚道見学



階段式魚道を上からのぞくと、アユがたくさん泳いでいる姿が確認できました。



人工河川式魚道で見つけた黄金の鯉。
良いことが起こりますように(^^)

魚道観察室では階段式魚道のリアルな川の流れを横から見ていただきました。



3. 館内の見学



2階の操作室内を窓越しに見学。

この部屋で紀の川大堰の監視や操作をしています。



魚道や大堰を一望できる展望デッキで、職員の説明を聞いている様子。



最後に館内の展示物を自由に観覧頂きました。床面の航空写真で話が盛り上がりたり、利水についてのパネルをじっくり読まれたり、図書コーナーで本を読みながら談笑したりして見学をされていました。

疑問・質問

Q. これまで紀の川大堰のゲートを全開にしたことはありますか？

A. もちろんあります。記録によりますと、紀の川大堰が暫定運用を開始した平成15年から、9回ゲート全開の指示が出されています。最近ですと、まだ記憶に新しい昨年10月の台風21号です。そのときに流れた水量は、紀の川大堰が運用してから第1位の記録となっています。